

4度、会長をお引き受けして

(社) 埼玉県放射線技師会

会長 小川 清



福島原発事故の影響による東京電力の計画停電から、本会の総会会場が定まらず転々としたが、5月28日（土）県民活動センターにて無事に終えることができたことを嬉しく思う。当日は延期された予算総会審議を含め、新公益法人移行に伴う新定款承認など多くの議案を承認いただき、また平成23、24年度理事が承認され、これから2年間本会の活動を担当するチームが産声を上げた。私自身も会長として承認をいただき、本会の発展と診療放射線技師職の向上に努力していきたい。

過去に3期6年の会長職を経て、今回4期目の会長職は躊躇するものがあった。若い頃から技師会や技術学会に関係した私は、可愛がっていただいた諸先輩から、「いつまでも若くはない。引き際だけは間違えるなよ」と言われたことがいつも頭の中に残っており、今回は次代の人に譲って、若い人が本会をより活性化の高い技師会に変え、それを応援する立場になることを願った。地方技師会は48技師会あるが、会長職をやりたいと積極的に立候補する人は少なく、技師会存続のために、ある意味世代交代していくことが多い。もちろんやりたい人がやらせたい人でないこともある。会長としての能力が最優先されるのではなく、職場、家庭、その他クリアしなくてはならない課題が多いことも事実である。一方で上司を説得し、家族を説得してまでトライするかどうかは疑問であるが、診療放射線技師になり、業として収入を得て生活している以上、この職業をより発展させていきたいと誰もが感じているはずである。その思いを代表して会長をやらせていただいていると私は思っている。

理事の仕事は経験を要するものが多く、どうしても培った経験をもった理事を優遇しがちになる。しかし新しい風を吹かせないと空気がよどみ、活性化が低下する。留任した理事の多くは長く技師会活動に携わり、発想が技師会の発想に凝り固まっているかもしれないので、地区理事4人を含む新理事8人には、新しい風を吹かせてくれることを期待したい。



副会長 堀江 好一

所属：社会保険大宮総合病院

副会長の堀江です。もうずっと埼放技に関わっていますが、改めて数えてみたら理事2年、常任理事6年、副会長を6年もやっていました。今期も副会長として小川会長をサポートしていきたいと思います。今年度は埼放技創立60周年のアニバーサリーイヤーです。そして、公益社団法人への移行申請を行うとても重要な年です。私の最大のミッションは何と言っても移行を果たすことだと肝に銘じてがんばります。

思い起こせば6年前、私が副会長に就任した時は、埼放技と日放技の間に大きな軋轢があった頃でした。それが今や、小川会長が日放技副会長です。時の流れは早いと感じます。

今年度中には50歳を迎える私ですが、心に鞭を打ちモチベーションを高めて任務にあたりたいと思います。2年間よろしくお願いたします。



副会長 橋本 里見

所属：埼玉社会保険病院

この度、平成23、24年度の役員人事において副会長を拝命いたしました埼玉社会保険病院の橋本です。副会長職2期目となり責任の重さを感じております。本年度は2年間準備を進めてきた公益法人化の申請を行う年となります。各都道府県の技師会では、一般社団法人と公益社団法人のどちらを選択するか十分会員の意見を聞き一般社団法人を選択し申請する技師会もあると聞いている中、埼玉県は公益社団法人を目指し準備を進め、5月の総会で新定款案と諸規程案を承認していただきました。この選択の評価は数年しないと判明しませんが、十分議論して進めてきたことをご理解いただきたいと思います。

そして、今後も会員の皆様の要求に応えた事業と県民に向けた事業を積極的に行っていきたく思っております。引き続き2年間小川会長を全力でバックアップし、常に発展する技師会となるよう会務に取り組む所存です。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。



常任理事（総務）田中 宏

所属：埼玉県立小児医療センター

この度、総務を担当させていただきます田中です。

これまで、編集4年間、学術4年間、総務2年間を担当させていただきました。これまで、多くの方々に支えられながら、何とか会務をこなしてきました。心から感謝申し上げます。自分一人の力はたかが知れていますが、多くの方々の力を合わせ、公益法人取得という大きな目標に向かっていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願申し上げます。

しくお願申し上げます。



常任理事（総務）芦葉 弘志

所属：丸山記念総合病院

会員の皆様、埼玉放射線を購読の皆様、こんにちは。

この度、定期総会において、平成23、24年度の総務担当の常任理事となりました、芦葉と申します。職場はさいたま市岩槻区にあります、丸山記念総合病院になります。技師会活動は免許を取得して、第六地区役員として活動させていただきましたが、県単位での活動は始めてであります。小川会長の指導をしっかりと受けて発展的な埼玉県放射線技師会が築けるよう全力で臨んでいきます。

総務担当としましては、継続開催のソフトボール、SARTセミナー、新春の集い、役員研修などをしっかり取り組んでいきます。また会員個人や県民にとって親しみのある埼玉県放射線技師会となるようにしていきたいと思っております。さらに地区会運営のサポートも出来るよう精いっぱい取り組んでいきます。何とぞよろしく願いいたします。



常任理事（財務）結城 朋子

所属：済生会栗橋病院

この度、財務担当として3期、5年目を勤めさせていただくこととなりました。当初は会計の知識など皆無で何をどうすればいいか、家計簿がつけられる程度の知識しかありませんでした。あっという間に4年が過ぎ、徐々にではありますが、会計処理に関することや税金に関してもかなり？詳しくなってきました。普段行っている日常業務とはまったくの畑違いですが、生活のなかで必要な知識として無駄がなく、社会の仕組みを知る上で大変勉強になっています。会の運営もお金がなければ成り立ちません。やはり世の中お金で動いているんですね。日々実感です。



常任理事（編集・情報）潮田 陽一

所属：埼玉医科大学総合医療センター

平成21・22年度と編集情報委員会の理事を務めさせていただき、今年度から常任理事となりました潮田です。

理事として活動した期間、厳しいながら奥の方に優しさを持った上司に診療放射線技師としてだけでなく、社会の枠組みなど様々なご指導をしていただきました。世間知らずで覚えの悪い私にとってこの事は新鮮で、過ぎる月日も大変早いものでした。

また、編集情報委員会のメンバーも良い人ばかりで、私が担当した編集に関しては、途中から趣味のようになり少し楽しい日々でもありました。

編集情報委員会は今年度から約半数が新メンバーとなります。いただいたご指導を無駄にすることなくまた、編集情報委員会委員の行動力や知恵を借りながら、より良い活動を行いたいと思います。

**常任理事（学術） 富田博信**

所属：済生会川口総合病院

埼玉県放射線技師会の学術担当常務理事は、今期で2期目となりました。1期目は学術講習会の充実、学術大会の新たな試み（大宮ソニックシティ開催、日本医療科学大学での開催企画、CT検査認定講習会など）を行って参りました。今期も会員の皆様のニーズに合わせ、積極的に学術事業を進めて参りたいと思います。今期もどうぞ宜しくお願いいたします。

**常任理事（公益）中村 正之**

所属：獨協医科大学越谷病院

皆様、こんにちは。この度、2期目となりますが公益委員会を担当させていただきます中村です。

最初の2年間、皆様に助けをいただきながら、県民公開講座やヘルシーフロンティア県民会議、さらには被ばく相談所の開設など公益活動を開催いたしました。また各地区で行なっている医療画像展はとても力強い公益活動となっています。社団法人から公益法人の移行もあと少しのところまでできました。これからも各地区や技師会活動を通じて県や市町村とのコミュニケーションを計り県民の皆様、会員の皆様との窓口になれるよう公益活動を進めていきたいと思っています。

この2年間、大変お世話になりますが、宜しくお願いいたします。

**理事（学術）栗田 幸喜**

所属：済生会栗橋病院

この度、縁あって学術理事に就任いたしました。ご存じのように埼玉放射線技師会の学術関連の業績はすばらしく、諸先輩方のご尽力によって様々な事業が行われてきました。改めて気をひきしめて職務にあたらなくてはと痛感しております。

富田常任理事のもと新しい企画の提案や改善案を出しながら、役員同士お互いに助け合い少しでも多くの会員の皆様が満足できるように精一杯頑張りたいと思いますのでよろしく宜しくお願いいたします。

**理事（学術）今出 克利**

所属：さいたま市民医療センター

今年度より学術を担当させていただくことになりました、さいたま市民医療センターの今出と申します。微力ながら埼玉県放射線技師会会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

私自身、技師となって20年と節目の年にこのようなお話を頂いたことは何かの縁だと感じております。学術委員のメンバーには富田常任理事をはじめ、それぞれの分野のエキスパートの集合体であり、その中で私がどこまで力になれるか分かりませんが、いろいろと刺激を受けながら会員の皆様と一緒に成長していけたらと思っています。

2年の任期ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

**理事（学術）佐々木 健**

所属：上尾中央総合病院

こんにちは、今期より学術理事を務めさせて頂く事となりました、上尾中央総合病院 佐々木 健です。

私自身まだまだ知識・技術ともに未熟で足元が定まっておりません。埼玉県放射線技師会役員としての責務を考えると、いったい自分に何ができるのだろうと困惑しています。しかし、就任した以上は診療放射線技師としてだけではなく医療に携わる者としての意識と倫理観をもって「何ができる」ではなく、「何をするか」を考えながら務めていきたいと思っています。

福島原発問題で多くの診療放射線技師が苦勞された事と思います。が、非常に注目された職種でもありました。一人でも多くの方の不安を拭う為には注目されている今だけではなく、継続して活動しなければならないと思っています。

今後とも会長をはじめとする役員の方や会員の方々と触れ合う時間を大切にし、成長していければと思います。よろしくお祈りします。

**理事（情報・編集）八木沢 英樹**

所属：埼玉社会保険病院

潮田常任理事より、お誘いいただき情報・編集理事を務めることになりました、八木沢です。平成21・22年度は第一地区理事を務めていました。今までは原稿の校正、編集をお願いしていた側なのですが、今回は校正、編集をする側にまわります。なにぶんはじめてのことなので、ご迷惑にならないよう一日もはやく情報・編集のシステムを理解し、スムーズに作業が出来る様がんばっていきたく考えます。

また、埼玉会員のみなさまに向けての重要なツールの雑誌、ホームページなど利益ある正確な情報発信、編集などを心がけていきたいと思っています。今後とも宜しくお祈り致します。

**理事（公益）星野 弘**

所属：埼玉社会保険病院

会員の皆様、こんにちは。この度、公益担当理事二期目を拝命することとなりました埼玉社会保険病院の星野です。未熟者の私ですが、初心を忘れずに、会員の皆様のためにお役に立てるよう邁進していく所存です。一期目に出来なかったことを着実に出来るように努力し、また、新たな取り組みも含め前向きに会務に取り組んでいければと考えております。

さて、東日本大震災から4カ月が経ちました。あの時から、私自身“今日を大切にしよう。そして、私にできることから始めよう”という思いが依然より強くなりました。その思いを大切に、会員の皆様のご協力を得て、魅力ある埼玉県放射線技師会、そして、県民の皆様から信頼され愛される埼玉県放射線技師会づくりを目指して、尽力を注ぎ貢献したいと思っています。どうぞご支援ご鞭撻のほど宜しくお祈り致します。



理事（総務）第一地区 双木 邦博

所属：さいたま市立病院

この度、23、24年度の第一地区理事を務める事となりました、さいたま市立病院の双木邦博（なみきくにひろ）です。埼玉県放射線技師会に入会して、まだ2年目で理事の方々のお名前とお顔が一致しておりません。

昨年第一地区の役員をさせていただき、前任の八木沢氏よりいろいろと教わっておりました。今後も地区の活動を教わり、第一地区会員のお役に立てるような勉強会や地域のイベントへの参加を行っていききたいと思います。また、隣接の地区とも連携をとりながら活動して行こうと思っています。

第一地区役員、協賛企業の皆様のお力をお借りして、会を盛り上げていきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。



理事（総務）第二地区 大西 圭一

所属：所沢ハートセンター

このたび、第二地区理事を担当させて頂く、大西と申します。

会員数が減少している昨今、地区でいかに行動するかで、県技師会の将来を左右してしまう重責を担っております。

力不足な私ですが、非常に頼りになる役員とともに第二地区を盛り上げていきたいと思っています。

この2年間は「チームワークの2地区」を合言葉に県技師会に貢献できるよう務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。



理事（総務）第三地区 庭田 清隆

所属：埼玉医科大学総合医療センター

向暑の候、皆様には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、平成23・24年度 第3地区代表幹事に就任することになりました、埼玉医科大学総合医療センターの庭田清隆と申します。

埼玉県放射線技師会に入会して、早くも23年が過ぎました。新たな気持ちで、歴任の諸先輩方の功績に恥じぬよう、会の運営に資していきたいと思っています。

会員の皆様に参加しやすい会、活発な交流が行える会とするため、多くの情報、地域住民との掛け橋、また、日頃から疑問に思われることなどをディスカッションし、会誌を通じて発信していければと考えております。

本年度も昨年度と同様に、勉強会、親睦会を計画しております。皆様が、一人でも多く参加され、お話を伺えることを楽しみにしております。

微力ではありますが、力の限り尽力する所存でございますので今後ともご支援・ご鞭撻を謹んでお願い申し上げます。

**理事（総務）第四地区 山田 伸司**

所属：小川赤十字病院

地区理事を担当することになりました小川赤十字病院の山田です。第4地区会の役員として4期8年お世話になり、この度埼玉県放射線技師会にもお世話になることとなりました。

近年埼玉県の会員数が減少傾向にあり、地区会としても減少傾向を止めなければなりません。そのために地区会として魅力ある勉強会・施設見学等を企画し、まず現会員の勉強会への参加増加を図り、退会の減少、新入会の増加へつながらよう運営していきたいと思えます。又、できるだけ多くの施設にメール等で案内を送り、少しでも多くの会員に活動を知っていただき、参加を促していきたいと思えます。

最後に県の活動、運営方法等まだ何も分からない状態ですのでご迷惑をお掛けするかと思えますが、皆様のご協力、ご指導をいただき頑張っていきたいと思えます。これから2年間よろしくお願ひします。

**理事（総務）第五地区 矢崎 一郎**

所属：春日部市立病院

歳を重ねるうちに、思うようにできることがだんだん少なくなってきたように感じています。

自分がうごける範囲を少しでも広げられるように、もうちょっとがんばってみようと思っています。

皆様のご協力とともに壊れない程度に努力していきます。サボっているようでしたら、背中を無理にでも押してください。よろしくおねがいたします。

**理事（総務）第六地区 石川 直哉**

所属：指扇病院

このたび、第六地区理事に就任いたしました、指扇病院の石川と申します。

第六地区では、より多くの方と知識の共有をする趣旨で開催している定期講習会をはじめ、様々な施設の方と情報を交換したりする絶好の機会となる納涼会・忘年会・ボウリング大会などを企画しております。

今期で2期目となりますが、初心を忘れずに地区会活動がますます活発になるよう、会員の皆様や優秀な役員の方をお借りして運営していく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。2年間どうぞよろしくお願ひ致します。



顧問 和田 幸人

所属：埼玉医科大学病院

社団法人埼玉県放射線技師会の顧問に就任しました和田でございます。私としては、一昨年より2年間顧問としての職責を果たしたか甚だ疑問ですが、小川会長より再要請を受けましたので、微力ながら本会のお役に立てればと2期目を受諾しました。

過日、文部科学省より福島原発事故による避難住民の警戒区域への一時立ち入りスクリーニングへの派遣要請があり、埼玉医科大学一次派遣技師として参加し、東日本大地震の深刻な被害状況と、復興を阻害する放射能汚染の混沌とした厳しい現実を体感して参りました。

医療界も不透明な混乱期にありますが、東北の皆様には負けないよう本会1187名の会員諸氏とともに、創立60周年に相応しい発展を遂げるよう努力したいと思っておりますので、皆様のご指導とご鞭撻を宜しく申し上げます。



監事 山本 英明

所属：埼玉県立小児医療センター

この度の総会におきまして会員の皆様のご推挙により、監事を務めさせて戴くことになりました。前期に引き続いて二期目であります。

監事とは、社団法人埼玉県放射線技師会の各種行事の運営や方向性を客観的に捉え、襟を正したり、羅針盤となるような意見を伝える立場だと考えます。

今期は、本会の創立60周年にあたる節目の年であります。また、公益社団法人の取得に向けて発進しているさ中の大事な時期でもあります。このように歴史ある本会の変革の時を迎えて、しっかりとした企画・運営のもとで『本会の運営が会員の満足度を最大にしているか』ということ念頭に置き、微力ながら監事として本会の発展に尽す所存であります。

会員各位におかれましては、益々のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



監事 鈴木 正人

所属：埼玉県議会議員

本年度も埼玉県放射線技師会監事を務める事となりました埼玉県議会議員の鈴木正人です。

ご承知の通り、私は放射線技師という職についておりませんので、外部の目から見た埼玉県放射線技師会という組織について、一般県民の視点で意見・提言をしたり、放射線技師会という組織や診療放射線技師という仕事の中身を一般の県民の方々に伝えていくという役割を果たしていきたいと考えております。

すでに、去る3月11日の東日本大震災の影響で福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故において、当技師会の皆様方が被災後すぐにボランティアとして現地に駆けつけ、福島県の各地で放射線量を測定するなどして活躍をされました。

こうした普段の仕事を生かした被災地支援活動は大変評価出来るものであり、当技師会の活動をもっと県民の皆さんにアピールしなければなりませんので、微力ではございますが、皆さんと共に盛り上げて行きたいと考えております。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。